

## 第6章 阪和線（和歌山～天王寺：営業キロ 61.3 km）

平成30年9月1日（土）から2泊3日で大阪の旅を楽しむ。関西在住の高松一高同窓生など（106名）と旧交を温める機会を得たと同時に、和歌山から天王寺までの営業キロ61.3 kmを踏破し、中身の濃い3日間だった。これで1万キロまで176 kmと迫った。なお、3日間のスケジュールは次の通り。



※ミニコンサート（七條功・岸上美保と高松一高音楽部有志によるコーラス）



※阪和線と紀勢本線

## 第1節 旅プラン

○9月1日(土) 雨のち曇り

ひかり 501号 新横浜 6時46分 → 新大阪 9時30分

関西桜紫会 総会・懇親会出席 10時30分～14時

そのあと2次会・3次会に参加

東横インあべの天王寺泊 06-7659-1045



○9月2日(日) 晴れ

天王寺 7時51分 → 和歌山 9時4分 (快速)

和歌山～紀伊中ノ島～六十谷～紀伊～山中溪～和泉鳥取～和泉砂川～新家～長滝～日根野～熊取 (営業キロ 28.3 km)

熊取 19時20分 → 天王寺 19時53分

東横インあべの天王寺泊

○9月3日(月) 晴れ

天王寺 5時25分 → 熊取 5時56分 (関空快速)

熊取～東佐野～和泉橋本～東貝塚～東岸和田～下松～久米田～和泉府中～信太山～北信太～富木～鳳～津久野～上野芝～百舌鳥～三国ヶ丘～堺市～浅香～杉本町～我孫子町～長居～鶴ヶ丘～南田辺～美章園～天王寺 (営業キロ 33 km)

天王寺 (17 時 54 分) → 大阪 (18 時 25 分) → 新大阪

ひかり 534 号 新大阪 19 時 16 分 → 新横浜 21 時 51 分

## 第 2 節 2 日目 : 9 月 2 日 (日) : 和歌山～熊取 晴れ

平成 30 年 9 月 2 日 (日)、晴れ、阪和線のうち、和歌山から熊取までの営業キロ 28.3 km に挑戦する。昨日は関西桜紫会と総会と懇親会を楽しんだ関係で、東横インホテルで朝食を済ませからのゆっくり目のスタートとする。天王寺 7 時 51 分の快速で和歌山に向かう。途中、日根野駅で 8 両編成の前 4 両が切り離され関西空港行きとなる。和歌山駅の東口に下りたが、20 数年前のイメージと異なっていたので通路を經由して西口に移動する。昔のイメージが蘇る。

一日目は、和歌山 (9 時 11 分) ～紀伊中ノ島 (9 時 51 分) ～六十谷 (11 時 13 分) ～紀伊 (12 時 37 分) ～山中溪 (14 時 58 分) ～和泉鳥取 (15 時 53 分) ～和泉砂川 (16 時 38 分) ～新家 (17 時 31 分) ～長滝 (18 時 10 分) ～日根野 (18 時 30 分) ～熊取 (19 時 10 分) の鉄道つたい歩き。



和歌山駅

9 時 11 分、紀伊中ノ島駅に向けて歩く。今日も色々メイクドラマを味わう。トップバッターの紀伊中ノ島駅は前方に駅舎が見えるが中々駅に到達できなかった。また、六十谷駅 (むそた) への路は誤った方向に歩いていた。何人もの地元の人のお世話になりやっとのことで紀の川 (六十谷橋) を越えて六十谷駅に到着できる

紀伊駅から山中溪駅にかけ山道となり暗中模索の状態での歩きを余儀なくされた。山道を歩いても歩いても山中溪駅には到着できなかった。この駅の手前で和歌山県から大阪府となる。山中溪駅から先の和泉鳥取駅と和泉砂川駅はうまくクリアできたが、新家駅 (しん

げ)では道に迷う。ここでも地元の人のお世話になりやつのことで到着できる。猫やカラスがいる野原は印象深い。

長滝駅、日根野駅は順調にクリアできる。しかし、日根野駅辺りで日没となる。本来はこの駅で打ち止めとすべきであったが、何とか明日の歩きで阪和線を踏破したい一心から、1.9 km先の熊取駅を目指す。地元の人のお世話を得て暗闇で不案内な道筋を何とか19時10分熊取駅に到着できる。地図を見て、当初予定していた東岸和田までは困難と判断しこの駅でアップする。結果的にはこの英断は大成功。その答えは翌日の歩きで熊取から東岸和田までは鉄道に沿った幹線道路がなく、難しい道筋であったからだ。

それにしても本日はいたるところにメイクドラマがあり大変であったが、面白いコースであった。駅舎等の立ち寄り状況は以下の通り。東横インで朝食を摂り、7時20分頃ホテルを出る。デジカメを忘れたのに気が付き引き返す。7時32分、天王寺駅に到着。



天王寺駅



和歌山駅 西口への通路





紀伊中ノ島駅

9時10分和歌山駅東口に到着。和歌山駅はこんなに小さくないと思い通路を經由して東口に到着。東口は賑やかだった。平成3年頃、仕事の関連で和歌山大を訪れた時の記憶が多少蘇る。東口をデジカメに収めて紀伊中ノ島駅を目指す。和歌山駅には南海電鉄が合流しており、その路線に行かないよう用心して歩く。東口を經由した関係で紀伊中ノ島駅への道筋、遠回りを余儀なくされる。9時30分、右手に川がある。9時36分、和歌山市に向かう線路下を潜る。9時41分、紀伊中ノ島駅が目に見えるが到着できず。9時42分、鉄道下のトンネルを潜り界限を一周する。何人もの方のお世話になり。やっと9時51分、紀伊中ノ島駅に到着する。

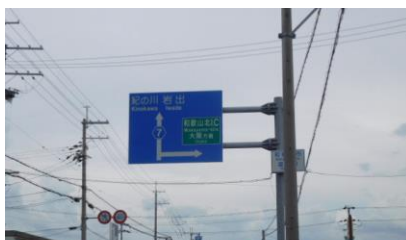


有本バス停（和歌山バス） 紀の川土手



六十谷橋、六十谷駅

9時49分、国道24号線（和歌山市有本）に出る。10時5分、有本バス停（和歌山バス那賀）を通過。10時28分、阪和自動車道下を通過。2km位間違った方向に行進していた。念のために聞いたところ誤った路筋を500m位進んでいた。何人もの地元の人のお世話になりリカバリーできる。10時52分、紀の川の土手に出る。ここから六十谷橋（むそたばし）まで730mとあった。11時11分、六十谷橋（紀の川）に到達。測定ミスでこの川幅を測量できず。六十谷駅には11時35分到着。JR線下を潜り、鉄道の右側を歩く。11時46分、国道7号線にある垂井バス停を通過。11時52分、紀の川、岩出方面とある方面に進む。12時7分、阪和自動車道下を潜る。12時12分、府中バス停（和歌山バス）前を通過。12時16分、紀伊国府跡通過。12時19分、弘西信号機前通過。12時22分、和歌山市立紀伊小学校があった。12時37分、バスのターミナル駅でもある紀伊駅があった。12時42分、左手には鉄道があった。



紀の川岩出方面 紀伊駅

13時1分、上黒谷バス停前を通過。13時14分、雄ノ山峠越えをする山口交差点に到達。道端で作業をしている方に山中溪（やまなかだい）駅への道筋を確認する。山越えが続くが、この路を真っ直ぐ進むと行けるとのことであった。13時19分、雄ノ山峠への注意事項がある道路標識前を通過。13時28分、子供を抱っこした感応山霊現寺前を通過。山道が続く。13時32分、朝電車の窓から見た橋を前方に捉える。13時34分、熊野古道と記した看板前を通過。13時36分、自分の姿を鏡の中で捉える。13時38分、トンネルを潜る。13時43分、熊野古道と記した路を歩く。13時49分、前方に赤い陸橋がある。山道が続く。13時58分、左手に阪和自動車道がある。以前鉄道が見えてこない。



感応山霊現寺 左手に阪和自動車道



和歌山・大阪の県府境

14時13分、阪和自動車道（和歌山方面）下を潜る。14時16分、阪和自動車道（大阪方面）下を潜る。14時19分、前方に白山のような円錐形の山が前方にある。14時20分、左手に鉄道（複線）が見え安堵する。14時32分、和歌山県と大阪府の境に到達。赤い橋が印象的であった。近くに日本最後の仇討の場史跡があった。ここを過ぎた辺りから民家が見えるものの山中溪駅までは遠かった。やっと14時58分、紀伊駅からは秘境駅とも思える山中溪駅に到着する。



仇討の場史跡

山中溪駅



山中溪駅前で遅いランチ

和泉鳥取駅への路

駅前の大衆食堂で冷やしソーメンを頂きながら老夫婦と一服（20分位）する。老夫婦のお話しによると、花見や紅葉狩りの頃には、この界限賑わうとのことであった。ここからは、山道ではなく平野の中の道筋となる。64号線を歩く。15時43分、山中溪地六踏切を横切り、鉄道の左側となる。15時49分、和泉鳥取橋を渡る。15時51分、和泉鳥取駅に到

着。16時16分、水色の橋を歩く。山間に沿って鉄道が走る。16時22分、林昌寺前を通過。16時36分、和泉砂川駅に到着。



和泉鳥取駅      和泉砂川駅

この駅から新家（しんげ）駅への道筋、路に迷った状況となり、地元と人のお世話になる歩きとなる。一方、誤った方向もあったが・・・。途中、野原の中のカラスや猫がいるエリアも歩く。17時6分、一丘小学校前を通過。そして、17時31分、やっと新家駅に到着できる。17時45分、鉄道を跨ぎ右側になる。暫く歩き、新池北踏切を横切り鉄道の左側を歩く。17時58分、前方に田園地帯が広がる。18時10分、長滝駅に到着。



長慶寺      新家駅



田園地帯の阪和線      長滝駅

道なりに歩くと、18時22分泉佐野税務署がある。日没が近し。18時30分、関西空港線にも繋がる日根野駅に到着。この駅でアップも考えたが、阪和線踏破のためには、次の熊取駅は少なくとも踏破しないと無理であると判断し更に頑張る。





泉佐野税務署



日根野駅

見知らぬ土地、暗闇を手探り状態で歩く。間違いそうな地点で、たまたま通りすぎりの人に対面でき、この路を直進して行けるか否かを問い合わせる。「1 km位行った先に墓地に沿って曲がる路があります。その路を下った先に熊取駅があります。遠いですよ。お気をつけて」のアドバイスを頂戴する。暗闇を指示がある通りに手探り状態で歩く。墓場があり、坂を下る。坂の手前で通行人の方に対面し、再度道筋を再確認する。「直進すると階段があります。その階段を下りた先を右手に行くと線路があります。その線路を潜り歩いた先に熊取駅があります」との説明を頂く。ホッとする。19時6分、線路下を潜る。19時10分、熊取駅に到着する。19時22分の電車で天王寺にある東横インへ。駅前の立ち食い蕎麦屋で夕食を摂り、ホテルで祝杯をあげる。当初の予定の東岸和田駅（6.5 km先）までは踏破できなかったが、複雑な道筋が絡む熊取駅までの営業キロ 28.3 kmを踏破でき満足の日であった。万歩計は 67,438 歩だった。



熊取駅



### 第3節 3日目：9月3日（月）：熊取～天王寺 晴れ

平成30年9月3日（月）晴れ、昨日の阪和線の続きに挑戦。昨日の状況を踏まえ熊取から天王寺までの営業キロ33kmを踏破したい一心から天王寺5時25分発の始発快速で臨む。これまでの経験から順調に歩いても10時間は要すると判断。本日の新幹線で神奈川に帰宅しなければならず、遅くとも17時までには天王寺駅に到着する計画で臨む。本日は熊取から天王寺までの間に23駅があり、駅間隔が短い故通り過ぎないように注意深く歩くことが余儀なくされた。

すなわち、熊取（6時6分）～東佐野（6時31分）～和泉橋本（7時12分）～東貝塚（7時50分）～東岸和田（8時22分）～下松（8時46分）～久米田（9時7分）～和泉府中（9時59分）～信太山（10時37分）～北信太（10時59分）～富（11時35分）木～鳳（11時58分）～津久野（12時27分）～上野芝（12時57分）～百舌鳥（13時16分）～三国ヶ丘（13時33分）～堺市（14時3分）～浅香（14時22分）～杉本町（15時36分）～我孫子町（15時50分）～長居（16時8分）～鶴ヶ丘（16時22分）～南田辺（16時37分）～美章園（17時2分）～天王寺（17時18分）と続く鉄道路線を。また、本日は会社主催の安否確認の訓練があるのでそちらへの注意も要求された。



天王寺駅

本日の最大のネックは、浅香駅(堺市)と杉本町駅(大阪市)の間に大和川が遮り、4～5km迂回を余儀なくされたことである。後でネットで調べたところ、川越には遠里小野橋経由と吾彦大橋経由の2コースがあった。地元の人々のアドバイスにて前者を選択する。実は数年前南海高野線踏破の際、この橋は渡ったことがあるのを思い出す。この橋を渡る際、南海電車の線路が若干高架しており、鉄道を渡るのに1km戻り浅香山駅踏切まで歩くことを余儀なくされた。また、このような経験は近鉄奈良線の踏破の際、木津川越えの苦労した日々を思い出す。それ故、少なくとも当初の予定より1時間程所要時間を要することとなる。杉本町駅から天王寺駅までは鉄道高架下を歩く花道が続いていた。



堺市と大阪市の市境（本日の難所大和川越えに骨が折れる）

熊取から東岸和田は鉄道に沿った幹線道路がなく難しかった。夜の暗闇ではとても踏破できる道筋ではなかった。東佐野駅から東橋本まで10分位一緒に歩いた同年配の方は印象深い。また、阪和線の大阪地域には沢山の市があるのにはビックリ。本日スタートとなった熊取駅は熊取町でユニークさを感じた。

この日は4番目の孫（凜が15時15分）の誕生で生涯忘れない一日となる。しかもかの時間帯、浅香から杉本町への踏破、大和側が遮り悪戦苦闘した。娘の産みの苦しみを少しではあるがお裾分けしてもらった目出度い瞬間であった。駅舎立ち寄り等の詳細な状況は次の通りである。3時半位に起床し、ホテルを4時57分チェックアウト。天王寺駅のコインロッカーに荷物を預け身軽な格好で臨む。天王寺5時25分発の始発で臨み大成功であった。加えて、東岸和田駅の次の停車駅は熊取駅であったので。始発にも関わらず、結構乗客がいた。流石関空快速である。天王寺駅を出る時はうすくらかったが、熊取駅到着の頃（5時56分）には夜は明けていた。



朝の熊取駅

阪和線の線路

熊取駅前のマップをデジカメに収めてから営業キロ 1.5 kmある東佐野駅を目指す。この  
限界で町が付く市町村は珍しかった。ややもすると、合併合併で名のある地名が消滅して  
いるからである。その一例が徳山市である。本日は駅間隔が短いものの、熊取から天王寺  
まで 25 駅舎あるので、相当負荷を要することが予想された。6 時 20 分、JR 線を跨り鉄道  
の左側となる。野原のような道筋を歩き、6 時 27 分鉄道下を潜り、鉄道の右側となる。そ  
の先に東佐野駅（6 時 31 分）があった。ホームには通勤客などの姿があった。線路沿いを  
歩く。



東佐野駅

6 時 38 分、鉄道下を潜り鉄道の左側となる。6 時 50 分、見出川を渡る。この川を渡ると  
泉佐野市から貝塚市となる。この限界で朝散歩している方と一緒に 10 分位世間話をし  
ながら歩く。7 時 7 分、和泉橋本南二踏切を横切り、鉄道の右側となる。その先に和泉橋本  
駅（7 時 12 分）があった。本日から新学期であることもあり、児童や学生を道筋で多々見  
かける。7 時 17 分、JR 下を潜り大回りの歩きとなる。



和泉橋本駅 石才駅

7 時 30 分、単線の水間鉄道の踏切を横切る。右手には石才駅があった。7 時 44 分、ゴリ  
ラがビール瓶で乾杯している像がある“酒商あべ”前を通過。7 時 50 分、東貝塚駅に到着。





酒商あべ



東貝塚駅

大阪市議会の議員がスピーチしていた。8時1分、用水路に沿って歩く。8時10分、貝塚市から東岸和田市となる。それにしてもこの界限小さな市が多々あるのにびっくり。8時22分、東岸和田市に到着。昨日、夜の路筋をここまで歩くのは絶対無理であったと自問自答する。市内の道路を歩き、下松駅には8時46分到着。そして再度道なりに歩いた先に久米田駅（9時7分）があった。



東岸和田駅



下松駅

9時24分、西大路町信号機前を通過。9時26分、東岸和田市から和泉市となる。9時32分、小田町信号機前を通過。9時35分、24歩ある松尾川を横切る。9時46分、柳田橋（横尾川）を渡る。9時56分、これまでのの中では賑やかな和泉府中駅に到着。



久米田駅



和泉府中駅

駅前のスーパーでトイレ休憩する。道なりに歩く。10時37分、信太山（しのたやま）駅に到着。線路に沿って歩いた先に北信太駅（10時59分；北信太）があった。駅前和服姿の絵画が印象的であった。11時10分、和泉市から高石市となる。阪和自動車道下を潜る。11時35分、富木（とのき）駅があった。



信太山駅 北信太駅



富木駅 鳳駅

道なりに歩くと、11時58分、鳳駅があった。ここから津久野駅への道筋がくねくねした道筋でややこしかった。12時12分、線路沿いに出る。12時21分、10m位下に偶然にも電車と対面する。その先の白い橋を渡った先に津久野駅（12時27分）があった。



津久野駅

鉄道に沿った路地を歩く。ここからもややこしい道筋が続き、地元の人のお世話になる。12時45分、川に沿って歩く。12時53分、23歩ある月見橋を渡る。12時57分、上野芝駅

に到着。線路沿いに歩いた先に百舌鳥駅（13時16分）があった。この境界で大事なタオルをロストする。注意力が散漫となるからだ。これまでロスト履歴は、財布、アイポット、万歩計などなど数えきれない。



上野芝駅



百舌鳥駅



三国ヶ丘駅



南海電車

13時33分、南海電鉄高野線と合流する三国ヶ丘駅に到着。数年前この境界を通過した記憶が蘇る。この駅で安否確認のメールをする。ここまで何度も「安否確認のメールが来ているかどうか」を確認しながら歩いたので、その作業が終了しホットする。13時35分、南海電鉄の踏切を横切る。ここでの地元の人のお世話になり、JR線への道筋を教えて頂く、13時52分、幼稚園の卒園記念の似顔絵をデッサンした前を通過。14時3分、堺市駅（14時3分）到着。14時21分、JR下を潜り鉄道の左側となり、道路を横切る吾彦大橋を渡る。そして鉄道を潜り右側となる。14時22分、浅香駅に到着。



堺市駅 浅香駅



大和川越えに悪戦苦闘



南海電車の踏切 杉本町駅

ここから1 km先にある杉本町駅が遠かった。その理由は堺市と大阪市の市境である大和川があったからだ。この橋をわたるまでに何人もの地元のお世話になった。南海高野線の際は、今回渡った遠里小野橋（279 歩）が界限にあったので難なく渡ることができた。しかし、今回は JR 線の直ぐ近くに橋がなかったので、川に沿って迂回を余儀なくされた。しかも高野線の鉄道が途中にあり、この踏切を渡るのに南海電鉄の浅香山駅の踏切まで歩くことを余儀なくされた。すなわち、全部で4 km位余計歩く必要があった。右往左往しながら、やっと15時36分杉本町駅に到着する。1 kmに74分要す。途中、14時35分浅香山公園があり。駅前に関西大学の校舎がある浅香山駅には14時59分通過。15時9分、遠里小野橋前に到達。この道路は堺中央線とあった。15時23分、南海電鉄の踏切を横切り、杉本町駅へ。産みの苦しみを味わう区間であった。人生って不思議なものだ。大和川を渡る頃、4番



目の孫が誕生するとは。いずれ凜が物心をついた頃話したいものだ。ここから天王寺駅までは鉄道に沿った花道が続く。



我孫子町駅 長居駅

二学期の始業式を終えて帰る姿がある我孫子町駅には15時50分到着。ここからは線路が高架していた。加えて、駅舎の間隔が短いので未踏破にならないよう注意深く歩く。16時8分、長居駅がある。



鶴ヶ丘駅 南田辺駅

16時22分、鶴ヶ丘駅がある。線路下にため池のような道筋を歩き、南田辺駅には16時37分到着。16時45分、噴水があるため池前を通過。16時50分、JR下を潜り鉄道の右側となる。高架した線路下を歩く。大阪の市街地に突入する。16時59分、三角形が印象的な美章園駅に到着。路地を歩き、17時10分大通りに出る。17時18分、天王寺駅に到着。駅のトイレで着替えして、環状線を経由し、新大阪駅に向かう。本日の営業キロは33km、万歩計は69,081歩だった。始発で臨んだのが功を奏し、阪和線61.3kmが踏破でき嬉しい限りだ。この線路は駅舎数が多いのに加え、山越え、川の迂回といった迷路が多々あり面白いコースであった。楽しいメイクドラマを堪能させて頂く。



美章園駅 天王寺駅

色々なメイクドラマと遭遇したが、昨日に引き続き、地元の人のお世話になり、和歌山から天王寺までの35駅舎をすべて踏破（営業キロ61.3km）でき、自己満足する2日間であった。加えて、上野芝辺りで4人目の孫を授かったとの朗報があり、生涯忘れない一日となろう、天や神に感謝あるのみ。天王寺駅（17時18分）には当初想定の時間帯より1時間位遅い到着となる。19時16分の新幹線（ひかり534号）で祝杯をあげながら自宅に向かう。



新幹線で祝杯